

ササガヤ (笹茅)

名前の意味：葉が笹のような茅という意味。

分類：単子葉類、イネ科、アシボソ属

(イネ科の栽培植物：イネ、コムギ、トウモロコシ)

好きな場所：日当たりのよい湿った道ばた、畦

分布：北海道、本州、四国、九州

原産地：昔から日本に生えていた (自生)

特徴：根元がほう茎、ササのような葉、針金のような花序の枝が斜め上に伸びる

種子の運ばれかた：そのまま地面に落ちる

花弁の数：2枚 (小さくて目で見てもよくわからない)、離弁 (花びらが1枚ずつ散る)

花の時期：7—9月

食べ方：食べられるけれどもおいしくない

見分け方：ヒメアシボソとは、小穂にノギ(針のような毛)があることで区別できる。コブナグサは、葉の縁が波打っている。

見つけやすさ ★★★★★

見分けやすさ ★★★★★

総合難易度 ★★★★★

(★が多いほど量が少なく、見分けにくく、難易度が高い)